

## 新たな仕組み成長産業を取り入れた障がい者と高齢者雇用 ～交流の拡大、移住・定住者の拡大を目指し～

### 1. 体験型観光の活用事例

#### ■いきいきわくわく観光(障がい者や高齢者の雇用、地域や学校と連携した観光案内)

○パーソナルモビリティなどを活用し、障がい者や高齢者、生徒、流通センター、病院、自然再生協議会など連携を図り流通センター麻機遊水地フィールドとした観光案内、自然観察、物品販売、商業的イベント等の実施。  
＜活用メリット＞

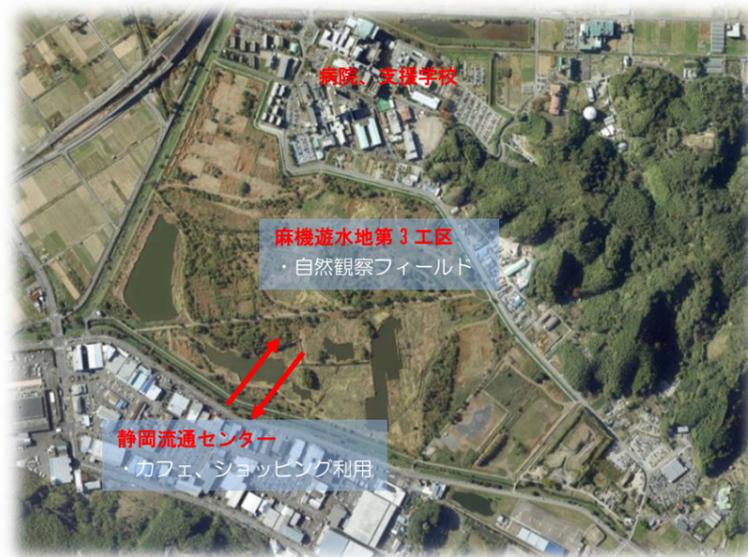
- ・市民からも注目され、利用者増加に伴い地域活性化が図れる。  
⇒地域が活性化すれば、高齢者、障がい者雇用も増加する。(カフェ、物品販売等の高齢者、障がい者雇用)
- ・パーソナルモビリティを利用すれば、高齢者、障がい者の方でも観光や観光案内ができる。  
⇒企業も高齢者、障がい者と連携を図ることでイメージアップ、PRにつながる。また、高齢者、障がい者の方の生きがいにもなる。
- ・病院患者さんも観光する事ができる。  
⇒病院関係者も患者さんが体験観光に参加することの効果についての研究ができる。また、高齢者、障がい者の方も気軽に自然との触れ合いができる。

#### ■遊水地ガイド

旅行会社と連携し観光客や旅行者を遊水地に誘致し、支援学校の生徒や障がい者の方が、遊水地の自然、歴史、活動などをガイドシステムで紹介しながら病院患者さんや生徒の父兄、市民、観光客等を案内します。



ガイドシステム



#### ■案内看板

- 看板の写真にスマートフォンやタブレットをかざすことにより、生き物や歴史、隣接する施設等の最新の情報を動画で見ることができる。
- 利用者の体力に合わせたコースを設定し、季節ごとに見られる観察ポイントを示し、患者さんの心や体のケアに役立てる。
- スマートフォン、タブレットで見ることができる動画は、静岡北支援学校や中央支援学校の生徒が大学生などと連携しガイド動画を撮影、製作する。
- 遊水地内にも案内ポイントを設置し、各ポイントでも情報を入手できるようにする。また、Wi-Fiポイントを設置し快適なアクセス環境も整備する。

#### ■案内看板(案)

■遊水地内の見どころポイント

①福地農園(モリス)	②サクラタデ(8月～10月)
③ミスアオイ(8月～10月)	④柴揚げ漁(1月第3日曜日)
⑤ワス(6月～8月)	⑥開放水面

■遊水地で見られる生き物

カヤネズミ	コウノトリ
チョウトンボ	カモの群れ

凡例

450m 約10分	麻機遊水地について
880m 約20分	沼から水田へと姿を変えてきた麻機遊水地では、治水整備に伴い土中に埋もれていた埋土種子が掘り起こされ、これまでに確認された植物は600種にも及びその中にはミスアオイなどの絶滅危惧種も見られます。また池沼部が形成された事により野鳥や昆虫、魚類が息を吹きかき、コウノトリも麻機遊水地に飛来しました。その他にも、県の絶滅危惧種に指定されているカヤネズミも生息しており、麻機遊水地は多様性のある湿地環境として、平成13年には環境省より「日本の重要湿地500(ウエットランド500)」にも指定されました。麻機地域には、多くの伝説や史跡などが残されており、その中には浅畑沼にまつわる「沼のばあさん」の伝説があります。また、浅畑沼が大変古くから行われていたと伝えられている伝統漁法が、現在でも麻機遊水地内で再現されており冬の産物詩となっています。その他にも、護国神社の輪くぐりのアジや菅笠のステなども遊水地のものが利用されており、遊水地は地域の歴史や文化の継承にも役立っています。
2km 約40分	
2.6km 約50分	
3.5km 約70分	

#### ■横浜でWHILL(株)が、全国初「免許不要」のパーソナルモビリティシェアリングサービスの実証実験を実施

WHILL 株式会社は株式会社 NTT ドコモが展開するパーソナルモビリティシェアリングサービス「WHILL シェアソリューション」を利用した実証実験を神奈川県横浜市みなとみらい地区近辺にて2015年8月5日～8月9日の5日間にわたり行います。市街での歩道走行可能なパーソナルモビリティのシェアリングサービス実施は全国初の試みです。本サービスは商業施設や観光スポットの中距離移動手段(1km～2km)としての活用を主用途とし、実験では利用状況や利用者の声をもとにサービスの有効性を検証します。サービスは希望される18歳以上の方はどなたでも周辺地域の移動・観光用途にWHILL Model A を利用でき、料金は無料です。